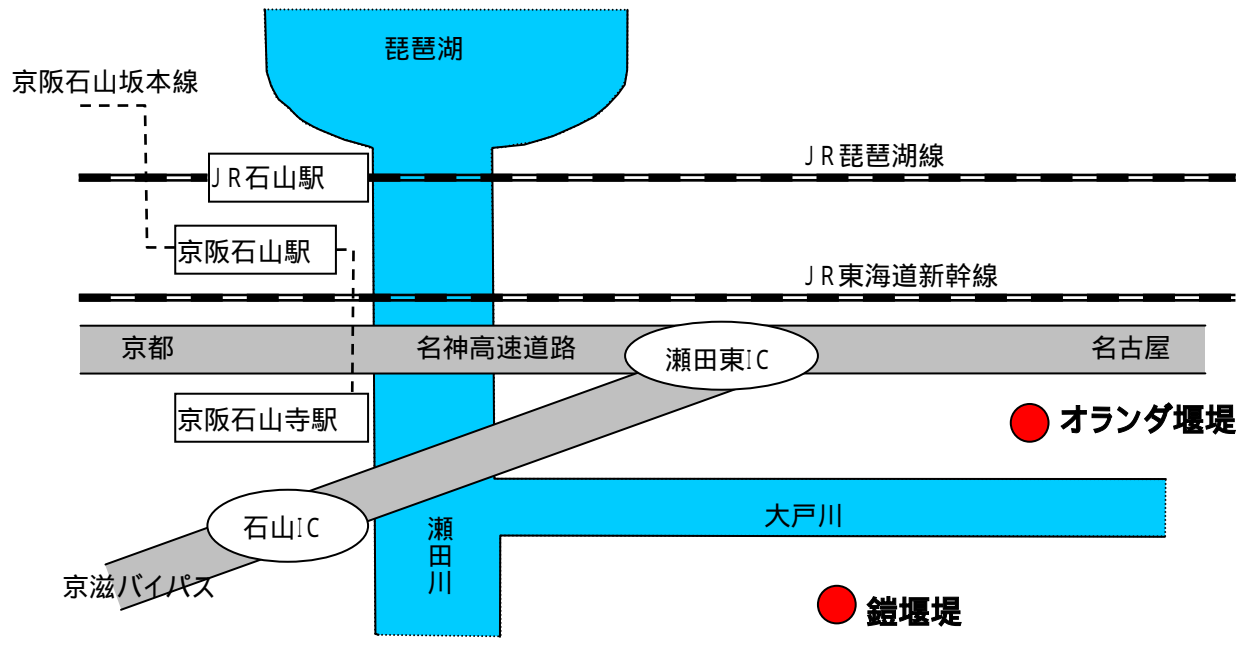


観光社会資本の事例

テーマ	訪れた人が憩い、砂防の歴史を学べる	
【施設の状況写真】	鎧堰堤  <p data-bbox="181 891 732 992">緑の中にたたずむ歴史的砂防施設。</p>	オランダ堰堤  <p data-bbox="778 860 1378 992">説明看板 堰堤周辺では砂防の歴史を学ぶことができるようになっている。</p>
【施設の利用写真】	鎧堰堤  <p data-bbox="181 1608 667 1709">歴史的砂防施設を見学に来た人々。</p>	オランダ堰堤  <p data-bbox="762 1608 1378 1709">堰堤の周辺で水遊びを楽しむ人々。家族連れの利用も多い。</p>
【観光資源としての利用状況】 この地域は、三上・田上・信楽県立自然公園(第三種特別地域)内となっています。観光面でも、オランダ人技師のデ・レーケの指導で田邊義三郎が設計し、明治時代に施工された中でも最も古い堰堤のひとつとして知られており、訪れた人が憩い、砂防の歴史を学べるようになっています。		

テーマ	訪れた人が憩い、砂防の歴史を学べる		
【社会資本の基礎データ】			
名称	鎧堰堤(よろいえんてい)	名称	オランダ堰堤(おらんだえんてい)
所在地	滋賀県大津市羽栗町	所在地	滋賀県大津市上田上桐生町
事業主体	内務省	事業主体	滋賀県
事業期間	明治21年～明治22年	事業期間	明治19年～明治22年
【社会資本の役割・効果】			
<p>この地域は、かつてはスギ、ヒノキなどの一大美林であったようです。しかし、奈良、平安時代における社寺仏閣の建立に伴う乱伐や、信楽焼の陶土採掘、また、戦国時代の戦火による焼失などにより荒廃が進み、山から緑が消えてしまいました。そして江戸時代には、降雨の度に山から土砂が流れ出し、河床が上昇し、下流域では災害が多発していました。</p> <p>そのため、山林の乱伐や山地の荒廃により多発する土砂災害に対して、砂防堰堤により下流への土砂流出の抑制を行うとともに、山腹工により荒廃地の植生回復を図ってきました。鎧堰堤やオランダ堰堤は、現在でも下流への土砂流出軽減に役立っています。</p>			
【位置図】			
 <p>The map illustrates the geographical context of the dykes. At the top is Biwako Lake (琵琶湖). Below it, the JR Biwako Line (JR琵琶湖線) and JR Tokaido Shinkansen (JR東海道新幹線) are shown. The Shinkansen line runs from Kyoto (京都) to Nagoya (名古屋), with the Sanjo Interchange (瀬田東IC) marked. The armor dyke (鎧堰堤) is located near the Ise Interchange (石山IC) on the Keizai Bypass (京滋バイパス). The Dutch dyke (オランダ堰堤) is located further east. The Otsu River (大戸川) and Biwako River (瀬田川) are also depicted.</p>			
<p>鎧堰堤：JR石山駅から帝産バスのアルプス登山口行きに乗車、終点のアルプス登山口バス停まで約30分。バス停より鎧堰堤まで徒歩約60分</p> <p>オランダ堰堤：JR石山駅から帝産バスの上桐生行きに乗車、終点の上桐生バス停まで約30分。バス停よりオランダ堰堤まで徒歩約5分</p>			
【関連ホームページ】			
鎧堰堤 http://www.biwakokasen.go.jp/setasabo/index.html			
オランダ堰堤 http://www.pref.shiga.jp/h/sabo			